事前資料2-2

地域福祉推進協議会での協議の経過（R3～）

重層的支援体制整備事業移行準備（令和３年度）

多機関協働

【具体的な取組】
・外国人支援についての勉強会
・早期発見のため
「気づきのポイントチェックシート」の作成

各機関、庁内ともに担当領域を超えることに対する意識の改革が大切
支援者の孤立を防ぐことも必要

重層的支援体制の構築について協議

今後５年間の地域福祉の方向性について共有

地域づくり

【検討課題】
地域住民が話し合うプラットフォームが必要

【協議会の議案】
「（仮称）私たちのまちについて語り合う会」についての協議

【協議会での意見】
地域の人がテーマを決め、主体的に運営することが大切

【協議会以外での検討事項】
地区福祉委員会の主体形成に向けて方策を検討する

第４次芦屋市地域福祉計画
第８次芦屋市社会福祉協議会地域福祉推進計画　策定
重層的支援体制整備事業実施計画

【協議会での意見】
庁内・相談窓口の連携について再設計が必要

【協議会での意見】
地域ビジョンづくりが必要

重層的支援体制整備事業本格実施（令和４、５年度）

多機関が協働する体制整備について協議

令和５年度
生活困窮者自立支援協議会を改編
多機関協働推進委員会の発足

重層的支援のチーム会議

重層的支援体制整備事業現場向け研修

多機関協働支援会議

地域づくり実践の中長期ビジョンの提案・協議

【協議会での意見】
・市民活動と福祉がつながると取組が広がる

地域で暮らしていくために必要なことの事例検討

・多様な主体との居場所づくり、地域と専門職との協働の必要性について再認識

・事例検討も交えて
地域福祉推進協議会改編に向けての協議

福祉のまちづくり委員会の発足（令和６年度～）